



社会貢献支援財団、 「平成17年度社会貢献者表彰」の 受賞者を発表

緊急時の功績など三部門25件に対し、日本財団賞を贈呈

社会貢献支援財団（会長 猪熊葉子）は、「平成17年度（第35回）社会貢献者表彰」の受賞者を発表した。

同財団は日本財団の助成を受け、社会の各分野で顕著な功績を挙げながら、社会的に報われる機会の少ない方を対象に、昭和46年(1971)年以来、毎年秋に社会貢献者表彰を行っており、昨年までの表彰件数累計は、1万1千6百件以上に上っている。

5月16日までに寄せられた212件の推薦の中から選考の結果、第一部門「緊急時の功績」5件、第二部門「多年にわたる功労」11件、第三部門「特定分野の功績」9件、合計25件を表彰することとなった。第一、第二部門には『日本財団賞』として副賞100万円を、第三部門のうち「海の貢献賞」、「ハッピーファミリー賞」には『日本財団賞』として副賞100万円、「21世紀若者賞」には20万円が、各件ごとに贈られる。

なお、表彰式典は11月16日（水）に東京全日空ホテルで行われる。

「平成17年度社会貢献者表彰」の概要

- * 候補 : 212件
- * 受賞 : 25件

受賞内訳

- ・第一部門 : 5件 緊急時の功績 / 日本財団賞（副賞100万円）
 - ・第二部門 : 11件 多年にわたる功労 / 日本財団賞（副賞100万円）
 - ・第三部門 : 9件 特定分野の功績 / 日本財団賞（副賞100万円）
- 上記部門のうち21世紀若者賞のみ日本財団賞（副賞20万円）

第三部門の各賞の内訳

- 海の貢献賞 4件
- ハッピーファミリー賞 1件
- 21世紀若者賞 4件

功績区分の内容

第一部門＜緊急時の功績＞

- ・海難・水難、交通事故、遭難等に際し、身命の危険を冒して救助・救援に尽くされた功績
- ・犯罪等の発生に際し、身命の危険を冒してその解決に協力された功績

第二部門＜多年にわたる功労＞

- ・精神的・肉体的に著しく労苦の多い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績
- ・著しく危険性の高い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績
- ・不潔・非衛生等、劣悪な状況・環境に耐え、多年にわたり他に尽くされた功績
- ・その他、困難な状況の中で多年にわたり努力し、社会と人間の安寧・幸福のために尽くされた功績

第三部門＜特定分野の功績＞

『海の貢献賞』

- ・海の安全確保、環境保護、汚染防止等に尽くされた功績
- ・海に関わる産業分野において長年の経験を持ち、技能が傑出している方、その分野を大きく前進させる発明・考案・改良等をされた方の功績
- ・海に関わる文化の発展・保存・伝承等に貢献された功績

『ハッピーファミリー賞』

- ・多くの子供を育て苦労を重ねながらも明るく生きてこられた方々や、親や家族の尊さを自覚しそのために尽くす若者の功績

『21世紀若者賞』

- ・自ら積極的に社会や他人のために尽くしている若者の功績

表彰選考委員

- 委員長 日下 公人（東京財団 会長）
猪熊 葉子（聖心女子大学 名誉教授、社会貢献支援財団 会長）
金平 輝子（元・東京都副知事）
犬丸 一郎（トット基金 理事）
曾野 綾子（作家）
藤原 正彦（お茶の水女子大学 教授）
内館 牧子（脚本家）
太田 正利（元 特命全権大使）
神津 十月（作家）
三宅 久之（政治評論家）
屋山 太郎（政治評論家）
米長 邦雄（社）日本将棋連盟 会長

報道関係のお問い合わせ先

社会貢献支援財団 <http://www.fesco.or.jp/>

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16 海洋船舶ビル2階
TEL : 03-3502-0910
FAX : 03-3502-7190
E-mail : fesco@mve.biglobe.ne.jp

平成17年度 表彰受賞者 (計25件)

【第一部門】 緊急時の功績

5 件

(敬称略)

番号	受賞者名	年齢	都道府県	生年月日
1	荒井 邦文	55歳	千葉県	昭和25年11月1日
2	日本スピンドル製造 株式会社	-	兵庫県	-
3	出口 万吉	46歳	埼玉県	昭和34年5月5日
4	山本 慎二	55歳	静岡県	昭和25年1月12日
	鈴木 康弘	51歳	静岡県	昭和29年2月1日
5	羽座 薫人	15歳	奈良県	平成2年2月18日
	政岡 徹則	16歳	奈良県	平成元年5月19日
	平瀬 恒太	16歳	奈良県	平成元年10月25日

【第二部門】 多年にわたる功労

11 件

6	特定非営利活動法人 ファミリーハウス	-	東京都	-
7	新埴 恒彦	73歳	沖縄県	昭和6年11月30日
8	内山 馨	82歳	大阪府	大正12年11月16日
9	依田 邦男	66歳	北海道	昭和14年8月23日
10	中澤 祥子	64歳	沖縄県	昭和16年2月26日
11	岸田 袈裟	62歳	ケニア共和国	昭和18年4月5日
12	牧野 幸江	72歳	マダガスカル共和国	昭和8年3月10日
	平間 理子	66歳	マダガスカル共和国	昭和14年10月10日
	遠藤 能子	62歳	マダガスカル共和国	昭和18年3月1日
13	荒川 勝巳	51歳	ケニア共和国	昭和29年3月5日
14	鈴木 昭二	68歳	東京都	昭和11年12月1日
15	奥野 正孝	52歳	三重県	昭和28年3月6日
16	水谷 修	49歳	神奈川県	昭和31年5月8日

【第三部門】 特定分野の功績(以下1～4の合計 9件)

1. 海の貢献賞

4 件

17	厚井 基正	60歳	滋賀県	昭和20年1月14日
18	八木 光	77歳	愛媛県	昭和3年2月10日
19	柳井 哲一	71歳	東京都	昭和9年5月5日
20	中村 宗次郎	72歳	東京都	昭和8年11月8日

3. ハッピーファミリー賞

1 件

21	溝口 キリ	82歳	長崎県	大正12年4月11日
----	-------	-----	-----	------------

4. 21世紀若者賞

4 件

22	金正美	29歳	神奈川県	昭和51年1月1日
23	小澤 幸子	31歳	山梨県	昭和49年5月13日
24	大森学園高等学校「空飛ぶ車いす」グループ	-	東京都	-
25	Otylia Jedrzejczak	20歳	ポーランド共和国	1984年12月13日

*年齢は平成17.11.16時点で表示してあります。

第一部門＜緊急時の功績＞

- ・海難・水難、交通事故、遭難等に際し、身命の危険を冒して救助・救援につくされた功績
- ・犯罪等の発生に際し、身命の危険を冒してその解決に協力された功績

荒井 邦文 (昭25.11. 1生 55歳 / 千葉県)

勤務先の前の境川で子供が溺れかかっているのを目撃し、直ちに着衣のままヘドロが堆積して臭気の漂う川に入り、パニックを起こした子供にしがみつかれて水中に沈むなどの危険はあったが、無事救助に成功した。

推薦者 : (財)警察協会 会長 今泉 正隆

日本スピンドル製造(株) (兵庫県)

工場前の線路で発生した列車脱線事故を知ると、直ちに従業員を食堂に集めて救助の指示を出し、現場に急行して救急隊の到着前から全社を挙げて救助活動を行い、多くの負傷者の救護にあたった。

推薦者 : 近藤 辰夫

出口 万吉 (昭34. 5. 5生 46歳 / 埼玉県)

郵便局員として勤務中、電車の踏切内で自転車を押して横断中の女性が転倒するのを目撃し、既に遮断機が降り警報機が鳴っている踏切内に入って、女性を踏切外に退避させ、自転車を撤去して事故を未然に防いだ。

推薦者 : (財)逓信協会 理事長 木下昌浩
/ 関東地方本部 本部長 友部 久邦

山本 慎二 (昭25. 1.12生 55歳 / 静岡県)

鈴木 康弘 (昭29. 2. 1生 51歳 / 静岡県)

仕事を終えて帰社途中、3階建てアパート1階の窓から煙が吹き出ているのを発見して直ちに駆けつけ、乗っていた高圧洗浄車で消火活動を行い、間一髪のところ男児の尊い人命を救った。

推薦者 : 全国消防長会 会長 関口 和重
/ 静岡市消防防災局

羽座 薫人 (平 2. 2.18生 15歳 / 奈良県)
政岡 徹則 (平元. 5.19生 16歳 / 奈良県)
平瀬 恒太 (平元.10.25生 16歳 / 奈良県)

生駒市高山町くろんど池畔を自転車で通りかかった3人は、池に転落した車両を発見、車内に男女2名を確認するや、救援を要請すると共に池に飛び込み救助した。

推薦者 : 全国消防長会 会長 関口 和重
/ 生駒市消防本部

第二部門＜多年にわたる功労＞

- ・精神的・肉体的に著しく労苦の多い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績
- ・著しく危険性の高い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績
- ・不潔、非衛生等、劣悪な状況・環境に耐え、多年にわたり他につくされた功績
- ・その他、困難な状況の中で多年にわたり努力し、社会と人間の安寧・幸福のために尽くされた功績

NPO法人ファミリーハウス （東京都）

都心の病院で治療を受ける難病の子供やその親の金銭的、精神的負担を軽減するため、廉価で安心して宿泊できる質の良い滞在施設の運営や、専門の相談員による無料相談事業等を行っている。

推薦者：秋山 昌廣

新里 恒彦 （昭 6.11.30生 73歳 / 沖縄県）

那覇市の中学校長を定年退職した後、ケルン自然体験苑や保護司の活動等を通じて、在職中から行ってきた行き場のない子ども達に救いの手をさしのべる活動を続け、ペスタロッチの愛に基づく教育を実践している。

推薦者：稲葉 耶季

内山 馨 （大12.11.16生 82歳 / 大阪府）

オランダ人日系二世の依頼に応えて日本人父親探しの困難な努力を続け、多くの成果を挙げて彼等に心の平安と喜びを与え、日蘭親善に貢献している。

推薦者：難波 収、ローゼンダール弘子・寺本、綿貫 葉子

依田 邦男 （昭14. 8.23生 66歳 / 北海道）

昭和31年から49年の長きにわたり、津軽海峡東側の渡島大湊港北防波堤灯台の灯火監視協力者として誠実で責任感あふれる活動を続け、海上交通の安全確保に貢献している。

推薦者：（社）燈光会

中澤 祥子 (昭16. 2.26生 64歳 / 沖縄県)

長年にわたり離島や小規模町村の駐在保健師として、地域住民の健康と福祉の向上に貢献し、保健事業を推進するなど、強い信念と実践力は他の保健師や公衆衛生関係者の模範となるとともに、住民の信頼と尊敬を得ている。

推薦者 : (社)沖縄県看護協会 会長 我如古 康子

岸田 袈裟 (昭18. 4. 5生 62歳 / 東京都)

ケニアの村々に日本のかまど、わらじを導入普及させて乳幼児死亡率の劇的低下と感染症予防等の効果を挙げ、浄化槽の設置、家庭救急箱の設置、エイズ孤児の支援等により地域住民の福祉向上に貢献している。

推薦者 : 八木 繁実

牧野 幸江 (昭 8. 3.10生 72歳 / マダガスカル共和国)

平間 理子 (昭14.10.10生 66歳 / マダガスカル共和国)

遠藤 能子 (昭18. 3. 1生 62歳 / マダガスカル共和国)

世界最貧国の一つであるマダガスカル共和国の厳しい生活・医療環境の中で、多年、住民医療に献身的な努力を続け、人々の福祉の向上に貢献している。

推薦者 : 社会貢献支援財団 事務局

荒川 勝巳 (昭29. 3. 5生 51歳 / 東京都)

1992年、ケニアに「サイディア・フラハ」を設立し、ナイロビ近郊に児童養護施設を作って現地スタッフと共に母子家庭、孤児、貧困家庭の子ども達を支援し、職業訓練を行うなど、地域コミュニティーに尽くしている。

推薦者 : 日本中近東アフリカ婦人会 名誉会長 重光 綾子

鈴木 昭二 (昭11.12. 1生 68歳 / 東京都)

元自衛官の経験を生かし、カンボジアで生命の危険を冒して不発弾処理の現場作業に従事し、顔の見える国際貢献に取り組んできた。

推薦者 : 社会貢献支援財団 事務局

奥野 正孝

(昭28. 3. 6生 52歳 / 三重県)

医大助教授の職をなげうって離島の診療所に赴任し、厳しい条件のなかで島民の医療に献身し、僻地医療の最前線でその重要性を身を以て示している。

推薦者 : 社会貢献支援財団 事務局

水谷 修

(昭31. 5. 8生 49歳 / 神奈川県)

13年前から繁華街の夜回りを続け、不登校、ひきこもり、リストカット、薬物乱用など、救いを求めて苦しむ子ども達と正面から向き合い、相談にのり、人生のやり直しに力をかしている。

推薦者 : 社会貢献支援財団 事務局

第三部門＜特定分野の功績＞

『海の貢献賞』

- ・海の安全確保、環境保護、汚染防止等に尽くされた功績
- ・海に関わる産業分野において長年の経験を持ち、技能が傑出している方、その分野を大きく前進させる発明・考案・改良等をされた方の功績
- ・海に関わる文化の発展・保存・伝承等に貢献された功績

厚井 基正 （昭20. 1.14生 60歳 / 滋賀県）

船舶搭載の中速発電用機関の主要部品「燃料高圧管」接合部の摩擦圧接技術と内面研磨技術の改良に成功し、低質油のC重油焚きを可能にするとともに、高圧管仕上げ作業を素人の作業に変え、技術継承に貢献した。

推薦者 : (社)日本船用工業会

八木 光 （昭 3. 2.10生 77歳 / 愛媛県）

空気・蒸気・水・油など多彩な物を輸送する多種多様な船舶配管を、厳しい作業環境の中、設計から部品製作、取付まで一人で出来る数少ない技術者として、多年にわたり我が国の造船業に貢献している。

推薦者 : (社)日本中小型造船工業会

柳井 哲一 （昭 9. 5. 5生 71歳 / 東京都）

過酷な作業環境に耐え高度の熟練技術を駆使する「飽和潜水」技術を欧米から導入し、その第一人者として我が国に飽和潜水土を育成するとともに、多年にわたり同技術を用いた様々な海中作業に携わり、日本の海洋開発に貢献してきた。

推薦者 : 社会貢献支援財団 事務局

中村 宗次郎 （昭 8. 11. 8生 72歳 / 東京都）

東京・北千住で金具製造業を営む傍ら、アンカー（錨）の研究・開発を行い、把駐力の大きい革新的なアンカーの開発者として関係者の注目を集め、さらに安全性の高いアンカーリングを目指して開発を続けている。

推薦者 : 社会貢献支援財団 事務局

第三部門<特定分野の功績>

『ハッピーファミリー賞』

- ・多くの子供を育て苦勞を重ねながらも明るく生きてこられた方や、親や家族の尊さを自覚してそのために尽くす若者の功績

溝口 キリ

(大12. 4.11生 82歳 / 長崎県)

病身の夫を扶けて漁業を営む中で9男2女を産み育て、育児・地域協力・会社経営を和の精神をもって一体として行う中心となり、海に根ざした地域社会の礎を築き、後に続く世代を育てている。

推薦者 : 稲田 博史

第三部門＜特定分野の功績＞

『21世紀若者賞』

- ・自ら積極的に社会や他人のために尽くしている若者の功績

金 正美 (昭51. 1. 1生 29歳 / 神奈川県)

ハンセン病元患者と交流を続け、ハンセン病に対する正しい理解と偏見・差別の除去のために講演・著作・TV番組等を通じて啓蒙活動を行い、元患者の社会復帰を支援している。

推薦者 : 吹浦 忠正

小澤 幸子 (昭49. 5.13生 31歳 / 山梨県)

ハイチの人々の悲惨な状況に驚き、友人と「ハイチ友の会」を創ってハイチの女性の雇用創出や児童の就学支援、農村開発などの事業を行い、医師として得た医療知識を予防医療に活かす間接的な医療支援にも力を入れている。

推薦者 : 石川 博

大森学園高等学校 「空飛ぶ車いす」グループ (東京都)

日本で廃棄される車いすを再生し、アジアの国々の障害者等へ贈る「空飛ぶ車いす」活動に参加し、これまでに約210台を再生、贈与した。また贈り先の国を訪れ贈与した車いすの活躍を確認しメンテナンスも行っている。

推薦者 : (財)日本社会福祉弘済会

O t y l i a J e d r z e j c z a k (1984.12.13生 20歳 / ポーランド共和国)

ポーランドの競泳女子選手として2004年オリンピックに出場し、獲得した金メダルをオークションにかけ、その収益を白血病に悩む子ども達のために全額寄付して世界に感動を与えた。

推薦者 : 駐日ポーランド共和国大使館